

6万1千人以上が受講した入門編・実践編講座に続く第3弾の講座（6月6日～8月7日（7月中旬まで受講登録可能））
行政やビジネスの現場における統計オープンデータの活用を想定した活用編講座

【講座の特徴】

- ビジネスの現場で活躍している専門家や総務省統計局及び（独）統計センター職員が講師を担当
- 公的統計データを入手できるe-Stat（政府統計の総合窓口）、統計データと地図を組み合わせ可視化できる統計GIS等を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する



【学習の流れ】

《講義動画》

データ分析の手法や留意点を解説（1コマ10分程度、各週5～7コマ×4週）

《確認テスト及び最終課題》

講義内容の理解度をチェック（各週5問程度、最終課題20問程度）

講義資料イメージ

佐賀県の事例

データ分析に基づく政策立案手法の導入

取組（実践）「99サガネット」
医療機関への搬送時間短縮
救急車にタブレット配備 → データで現場を可視化

研修（理論）
人材育成
理論に加えてケーススタディ → 他業務での活用促進

相乗効果

業務の共通言語としてのデータ分析

講義動画イメージ

マッシュアップとは

複数のデータを組み合わせると
新たな知見を得ること

e-Statには繋ぎ合わせると面白い
「複数のデータ」がいくつも

今回は産業構造と平均所得の関係を



週	各週のテーマ	内容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ （e-Statの機能紹介、活用事例紹介等）
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ （公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等）
3	統計GISの活用	統計データと地図を組み合わせた統計GISの活用方法を学ぶ （jSTAT MAP※1の機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等）
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能※2の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ （統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等）

※1 地図による小地域分析（jSTAT MAP）

※2 プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能